

船越工務店株式会社

2017年度環境活動レポート



(対象期間：2017年 7月 ～ 2018年 6月)



®環境省
エコアクション21
認証番号0010448

発行 2007年6月15日年



発行日： 2018年10月20日

改定日： 2018年12月1日

I. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

船越工務店株式会社
代表取締役社長 船越 裕司

(2) 所在地

本 社 千656-0313 兵庫県南あわじ市松帆志知川621
資材倉庫 千656-0313 兵庫県南あわじ市松帆志知川621
資材及び廃材物置場 千656-0313 兵庫県南あわじ市松帆志知川海田904

(3) 環境管理責任者及び担当者

責任者 中田 啓介
担当者 船越 美佳

(4) 事業内容

建設業（建築・土木一式）
許可番号 兵庫県 第801388号 許可年月日 平成29年2月4日
許可期限 平成34年2月3日

(5) 事業の規模

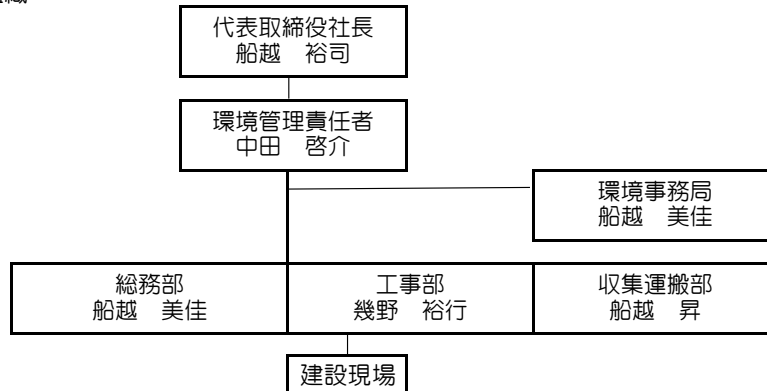
設立 平成3年1月10日
資本金 2千万円
売上高 1.3億円（平成29年度実績）

各事業所の規模

	本社	資材倉庫	資材及び廃材物置場	合計
従業員 (名)	6	無人	無人	6
延べ床面積 (㎡)	124	200	2002	2326

許可運搬車両 3tダンプ 1台
2tダンプ 1台

(6) 組織



(7) 事業年度 7月～翌年6月

II. 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 船越工務店株式会社
対象事業所: 本社、資材倉庫、資材及び廃材物置場
活動: 建設業（建築・土木一式）

Ⅲ. 環境方針

当社は、建築工事・土木工事の各事業分野において、地球環境の保全のために環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油）
3. 事務所での廃棄物の削減を推進します。
4. 建設現場等での廃棄物の削減、建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水道使用量の削減を推進します。
6. グリーン購入を推進します。
7. 施主に対し環境配慮型商品の情報提供を積極的に行うとともに、環境に配慮した施工技術の開発と提案を推進します。
8. 本方針を全従業員に周知徹底します

制定日：2014年7月1日

改訂日：2018年12月1日

代表取締役社長 船越 裕司

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年度 基準年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	31,807	22,752	22,190	24,061
電力	kWh	6,046	5,611	6,072	6,027
ガソリン	L	4,068	4,851	4,421	4,178
軽油	L	7,337	3,279	3,355	4,292
廃棄物排出量					
一般廃棄物	キロ		83	93	63
産業廃棄物	トン	62.42	74	58.86	110.69
総排水量	m ³	179	150	148	137

注 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、平成24年度関西電力公表の0.51kg-CO₂/kWhを使用。

V. 環境目標及びその実績

(1) 目標

項目		新中期計画					
		2013年度 基準年度	2017年目標	2017年度 基準	2018年度	2019年度	2020年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	31,807	30,535	23,483	23,248	23,013	22,779
	対基準		△4%		△1%	△2%	△3%
電力使用量削減	kWh	6,046	5,804	6,027	5,966	5,906	5,846
	kg-CO ₂	3,108	2,983	2,519	2,494	2,469	2,443
ガソリン 使用量削減	L	4,068	3,905	4,178	4,136	4,094	4,053
	kg-CO ₂	9,445	9,067	9,700	9,603	9,506	9,409
軽油 使用量削減	L	7,337	7,044	4,292	4,249	4,206	4,163
	kg-CO ₂	19,255	18,485	11,264	11,151	11,039	10,926
II. 廃棄物排出削減							
	一般廃棄物 削減	キロ	96	93	63	92	91
産業廃棄物 削減→リサイクル推進	トン	62.42	59.92				
	対基準		△4%				
建設リサイクルの推進 (リサイクル率向上)	%	96	99%	99%	100%	100%	100%
	対基準	2014年度設定	+3%		100%を目指す		
III. 水使用量 削減	m ³	179.0	171.8	137.0	170.1	168.3	168.3
	対基準		△4%		△1%	△2%	△3%
IV. グリーン購入	品目	9	14	14	15	16	17
	対基準	2014年度設定	5		1	2	3
V. 環境配慮工法 の開発と提案 環境配慮型商品の提案	件	14	17	39	40	41	42
	対基準	2014年度設定	3		1	2	3

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、基準年度～2017年度実績までは平成24年度関西電力公表の0.51kg-CO₂/kWhを使用するが、2017年基準（新中期目標）より0.418kg-CO₂/kWhを使用する。

【2018年度以降の環境目標変更事項】

※中長期目標として基準値を2017年度に変更

※産業廃棄物の削減→建設リサイクルの推進

(2)実績

項目	年度	実績				
		2013年度	2017年度			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	31,807	30,535	24,061	127%	○
	対基準		△4%	△32%		
電力使用量削減	kWh	6,046	5,804	6,027	96%	△
	kg-CO ₂	3,108	2,983	3,098		
	対基準		△4%	△0.3%		
ガソリン 使用量削減	L	4,068	3,905	4,178	93%	X
	kg-CO ₂	9,445	9,067	9,700		
	対基準		△4%	2.7%		
軽油 使用量削減	L	7,337	7,044	4,292	164%	○
	kg-CO ₂	19,255	18,485	11,264		
	対基準		△4%	△42%		
II. 廃棄物排出量 削減						
一般廃棄物 削減	キロ	96	93.12	93.0	101%	○
	対基準	2014年度	△3%	△3%		
産業廃棄物 削減	トン	62.42	59.92	110.69	54%	X
	対基準		△4%	△6%		
建設リサイクルの推進 (リサイクル率向上)	%	96	99%	99%	100%	○
	対基準	2014年度	+3%	3%		
III. 水使用量 削減	m	179	171.8	137	125%	○
	対基準		△4%	△23%		
IV. グリーン購入	品目	9	14	14	100%	○
	対基準	2014年度	5	5		
V. 環境配慮工法 と商品の提案	件	14	17	39	229%	○
	対基準	2014年度	3	25		

注) 評価欄にて ○:達成(達成度100%以上)、△:やや未達成(同100%未満~96%以上)
X:未達成(同96%未満)

二酸化炭素排出量に関しては仕事内容により増減が大きく左右している。

- ・電力増：夜間の打ち合わせや時間外作業増による
- ・ガソリン増：遠方への出張や営業活動増による
- ・軽油大幅減：重機の稼働率減による
- ・産業廃棄物大幅増：住宅解体・土木工事などの内容による
- ・環境配慮工法と商品の提案大幅達成：お客様の自然素材への関心の高さと弊社の営業活動による

VI. 環境活動計画及び取組結果の評価と今後の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価結果と今後の取組内容
二酸化炭素排出量の削減		<u>(目標達成)</u>
・電力・ガソリン・軽油使用量の削減 (各項目による)	◎	仕事内容によりガソリン使用料は未達成であるが取組状況は評価できる。環境目標設定の見直し
電力使用量の削減		<u>(目標未達成)</u>
・空調温度の適正化 (冷房27℃暖房20℃)	◎	クールビズを行い温度管理を行っている。ON/OFF時の電力消費が大きいので猛暑時には常時ONで管理した。
・サーキュレーターの使用	◎	空調と同時使用し空調効果が上がった。
・不要照明の消灯	○	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空転禁止	×	LED化を検討中。
ガソリン使用量の削減		<u>(目標未達成)</u>
・アイドリングストップ	○	実践できているが更に徹底意識を持つ。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転に注意できた。
・効率的な移動	◎	乗り合わせと遠方への出張は公共機関を推奨
軽油使用量の削減		<u>(目標達成)</u>
・重機の空ふかしの禁止	◎	現場での意識付けはできている。今後も気をつける。
・アイドリングストップ	◎	実践できている。
・空気圧、オイル等の点検	◎	定期検査時には行っているが現場でも徹底していく。
一般廃棄物の削減		<u>(目標達成)</u>
・ミスコピーの防止と再利用	◎	不要受信FAXをパソコンでチェックしペーパーレス化を行った。ミスコピーの裏面使用徹底。
・分別の徹底	◎	分別の徹底を行う。缶の持ち帰りを行った。
・リサイクルの推奨	◎	空き缶や段ボールなどはリサイクルに努めて搬入。
産業廃棄物の削減		<u>(目標未達成)</u>
・再生資源化施設への搬入	◎	努めて行っている。環境目標の見直し
・素材ボックスの設置	◎	分別しつつ再利用の促進を促す。
・保管場所の掲示板を設置	◎	保管基準の遵守。
・マニフェスト管理	◎	契約書とマニフェスト管理の徹底
建設リサイクルの推進		<u>(目標達成)</u>
・分別によるリサイクル推進	◎	できているが今後もリサイクル率向上に努める。
・仮設資材の再利用の推進	◎	仮設資材は再利用している。
水道水使用量の削減		<u>(目標達成)</u>
・節水の周知徹底	◎	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・植物への水やりは雨水を利用	◎	徹底できている。今後も継続する。
グリーン購入の推進		<u>(目標達成)</u>
・事務用品の購入対象品目	◎	今後もグリーン商品の購入数の増加を図る。
・事務用品の購入比率	◎	対象品目の購入金額比較を行いつつ購入比率の把握
・現場材料	○	現場材料の対象品目のリストアップも行い努めて購入。
環境配慮工法の開発と提案		<u>(目標達成)</u>
・工事分野別の技術・ノウハウの収集	◎	騒音・振動の抑制のため低騒音・低振動の機械を使用している(リースも含む)
・環境に配慮した商品と技術を施主に提案	◎	具体的に仕上げ材を珪藻土やしっくい等の提案、床材は無垢材を使用する提案を積極的に行っている。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規定	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、 マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
フロン排出抑制法	設備の適切な設置、設備点検、点検記録、点検記録の保管、 廃棄時の適正処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション2.1認証・登録を受け4年が経過し、全社員の環境意識が高まったことは評価できる。弊社の受注内容は住宅建築が大半を占めるため環境に配慮した素材（自然素材）や工法を積極的に提案し行っていることも環境活動に繋がっている。更にゼッチビルダーとしても住宅における省エネ化の普及を行っています。当初の環境目標であった二酸化炭素排出量の削減に関しては、目標値を達成しているものの受注内容の変化により、各項目（電力数値・ガソリン使用量・軽油使用量）での増減が生じているので環境目標の見直しを行い、今後も常にエコを意識し環境活動を継続します。

平成30年10月20日
代表取締役 船越 裕司

IX. 環境活動事例

(1) 重機・車両の優先使用



優先使用重機
排ガス適合重機



優先使用重機
排ガス適合重機



優先使用車両
アイドリングストップ車両

(2)環境に配慮した施工例



外壁仕上げ
漆喰塗り



内装仕上げ
床 無垢木材 自然塗料
壁・天井 漆喰塗り



木部塗料
未晒し蜜蠟ワックス 自然塗料